

ウォークラリー(ヤッホーコース・緑陽コース)

人数	最大 80 人程度 ※引率者は5人以上必要です。	指導形態	導入指導あり
対象	小学校5年生以上	目安時間	3～3.5 時間
班編制	1 グループ 4～6 人が適当	天候	雨天可能 ※雷注意報発令時や熱中症指数が高い日など、天候によって中止になる場合あり。
活動場所	所外コース ヤッホーコース約 2.7 km / 緑陽コース約 2.9 km ※それぞれのコースに、反対方向に回る2つのコースがあります(順コース・逆コース)。		
		実施時期	通年

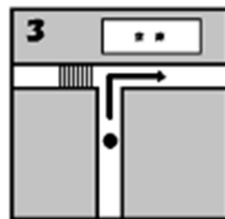
1 概要

自然の中の道のルートを歩く過程で、分かれ道などが簡略化された「コマ図」を読み解きながら進んでいく活動です。また、コース途中に設けられたいくつかの課題を解いていき、得点やタイムを競います。

グループの仲間と協力しながら意思決定を行う、問題を解く、長い距離を歩きとおすことで、連帯感が生まれ達成感を味わうことができます。

2 ねらい

- (1) 自分で考え、活動に進んで取り組むことができる。
- (2) 初めてのことに對しても、進んで挑戦することができる。
- (3) 仲間とコミュニケーションを図ることができる。
- (4) 仲間と力を合わせて取り組むことができる。



3 準備物

団体が準備するもの

- ☐ 運動しやすい服装・靴
- ☐ 帽子
- ☐ タオル
- ☐ 水筒(必要に応じて)
- ☐ 筆記用具
- ☐ 雨具(カッパ)(必要に応じて)

施設が貸し出すもの

- ☐ 地図
- ☐ チェックカード
- ☐ バインダー
- ☐ ビブス
- ☐ 通過確認表(引率者用)
- ☐ 記録用紙(引率者用)
- ☐ トランシーバー(引率者用)

申込時に注文購入できるもの

- ☐ ペットボトル飲料(麦茶、水、スポーツドリンク)
(活動時の使用物品は購入不要です。)

4 役割分担（団体引率者） ※5人以上の引率者の参加が必要です。

- 本部（1人以上）…全体の総括・指揮、担当指導員との連携、スタート・ゴールの管理記録、時間管理、見守りポイントスタッフとの連携、児童生徒の人数確認、けが人の把握、答え合わせと採点
- 見守りポイントスタッフ（4人以上）…児童生徒の通過確認と記録、健康チェック、交通安全指導、グループの状況の把握、必要に応じて追加指導、本部との連携

5 主な活動内容 ③④の説明は施設指導員が行います。

※団体引率者については、児童生徒集合前または①②の間に、担当指導員による「トランシーバーの使い方」「見守りポイントスタッフの業務・留意点」の説明を聞いていただきます。

- ①玄関前に集合し、グループの人数、健康状態を確認する。
 - ②各グループにビブス、コマ図、チェックカードを配り、確認する。
 - ③実施方法の説明、コマ図、チェックカードの見方の説明を聞く。
 - ④安全指導を受ける。
 - ⑤グループごとに順番にスタート地点に移動後、スタートする（スタート時刻をカードに記入する）。
 - ⑥ウォークラリー
 - ⑦ゴールしたグループごとに人数を確認し、ゴール時刻をカードに記入する。
 - ⑧ゴールしたグループは、本部にチェックカードを提出し、順位を決定する。
 - ⑨ビブス等の用具の数を確認し、片付けを行う。用具を返却する。
 - ⑩振り返りを行う。
 - ⑪採点、順位の発表を行う。※残り時間によっては翌日に行うなどの変更も必要。
- ※3分割したコマ図を、グループ内で分担して持って活動することもできます。

6 事前準備

実地踏査

当日の団体引率者は、必ず事前に実地踏査を行い、活動内容の確認、危険箇所の把握、見守りポイント場所と役割の確認をしてください（施設職員との打ち合わせも含む）。

実地踏査を行う日については、事前に当所に連絡を入れ、実施可能かどうかを確認してください。

「見守りポイント図」の提出

実地踏査後、実施日の1週間前までに、本部・各見守りポイントの担当者（配置）を決め、「見守りポイント図」に記入してメール（FAX可）で提出してください。

※時間にゆとりのある活動計画を立ててください。

※安全上、帽子と長袖・長ズボンの着用をお願いします（「活動時の服装と持ち物」参照）。

※児童生徒、引率者の安全を最優先に実施し、事故防止に努めてください。

※地図に示された範囲内で活動し、田畑に立ち入ったり農作物に触れたりしないでください。

※児童生徒（グループのリーダー）は必ずビブスを着用し、グループでまとまって行動するようにしてください。